

2026年1月30日までに可塑性扁平足の診断でリハビリテーション、インソールの治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

乳幼児期の<sup>かとうせいへんぺいそく</sup>可撓性扁平足 に対する  
運動療法介入の効果検証  
【ご協力のお願い】

研究機関名 札幌医科大学附属病院  
研究機関長 病院長 渡辺 敦  
研究責任者 札幌医科大学附属病院リハビリテーション科・助教 青木昌弘  
研究分担者 札幌医科大学附属病院リハビリテーション科・助教 土岐めぐみ  
研究協力者 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部・理学療法士 宮城島沙織  
札幌医科大学附属病院リハビリテーション部・理学療法士 佐藤優衣  
札幌医科大学附属病院リハビリテーション部・理学療法士 笹川古都音  
札幌医科大学附属病院リハビリテーション部・理学療法士 鎌塚香央里

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

札幌医科大学附属病院リハビリテーション科にて、<sup>かそせいへんぺいそく</sup>可塑性扁平足と診断され、運動療法およびインソールの処方がされた方の足部の状態や動き方を調べて、乳幼児の扁平足の治療として、運動療法\*やインソール（アーチサポート）に効果があるのかどうかを検証することを目的とします。

※運動療法とは、リハビリテーションのひとつで、運動を行うことによって、疾患の治療を行う療法のことを指します。

### 2) 研究の意義・医学上の貢献

乳幼児期の扁平足の治療に関する情報は少なく、本研究で明らかにしようとしている乳幼児期の扁平足の治療効果に関する知見は今後のリハビリテーションに非常に有益な情報となると考えられます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

この研究の対象者は病院長承認日から2026年1月30日までに可塑性扁平足と診断された6歳未満の患者さんです。

### 2) 研究期間

病院長承認日から2027年3月31日

### 3) 予定症例数

目標症例数 30 例

### 4) 研究方法

通常診療でのリハビリテーション実施時に行なった以下の観察項目・検査項目を使用し、運動療法とインソール使用の前後の比較を行い、その効果について調べます。

#### ・観察項目・検査項目

##### 1. 一般情報

- ・ 身体所見（身長・体重・下肢長）
- ・ 出生歴、発達歴

##### 2. 足部評価①（静的アライメント）

- ・ 足の裏の形を撮影（フットプリント）して、扁平足の程度を評価します。
- ・ 足部を後ろから撮影し、後足部アライメント（踵の骨や足のつき方の特徴）を評価します。
- ・ 重心動揺測定装置を使って、重心の位置や重心の動き方を検査します。

##### 3. 足部評価②（動的アライメント）

- ・ 歩行・踵あげ時・片脚立位時の足部の運動についての動画を撮影し、足部動揺の特徴、程度を記録します。

##### 4. その他の検査

- ・ 全身弛緩性評価（Beighton Hypermobility Score）<sup>ベイトン ハイパーモビリティ スケール</sup>
- ・ バランス・姿勢制御評価

#### ・測定スケジュール

日程		使用＋ リハ前	使用＋リハ 後 Day0	Day180 (約半年後)	Day365 (約1年後)
観察項目	身体所見	○	○	○	○
	出生歴・発達歴	○			
	足部評価①	○	○	○	○
	足部評価②	○	○	○	○
	全身弛緩性評価	○	○	○	○

	バランス評価	○	○	○	○
--	--------	---	---	---	---

なお、この上記評価は全てリハビリテーション診療の枠組みで通常行っている評価であり、研究として追加して行うものではありません。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用するのは大学病院のカルテに記載されている情報の中から、4) で示した情報を抽出し、使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシー保護には細心の注意を払います。

#### 6) 情報の利用開始予定日

情報の利用を開始する予定日は、2026年4月1日です。

#### 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後、研究完了（中止）報告書を提出した日から5年が経過した日までの間、札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座のカンファレンス室内の施錠可能な場所で厳重に保管させていただきます。電子情報の場合はパスワードなどで管理・制御されたコンピューターに保存します。

なお、この研究に使用した情報を将来別の研究に利用することはありません。

情報の管理について責任を有するものの氏名または名称

札幌医科大学附属病院 病院長 渡辺 敦

#### 8) 研究結果の公表

この研究の結果は学会や論文で発表します。その際も指名、生年月日などあなたを特定できるデータは一切含まないようにします。

#### 9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

また、あなたの情報が研究にされることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承をいただけない場合には研究に使用しませんので、2026年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいた時点で、研究に用いないように手続きをして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

ご連絡いただいた時点が下記問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が、学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学附属病院

担当医師 リハビリテーション科 助教 青木 昌弘（研究責任者）

リハビリテーション科 助教 土岐 めぐみ（研究分担者）

連絡先

平日・日中(8:45～17:45)：リハビリテーション部 理学療法係

電 話 011-611-2111（内線 36870）

夜間・休日：リハビリテーション部 理学療法士 宮城島（みやぎしま）

メール [saori305@sapmed.ac.jp](mailto:saori305@sapmed.ac.jp)